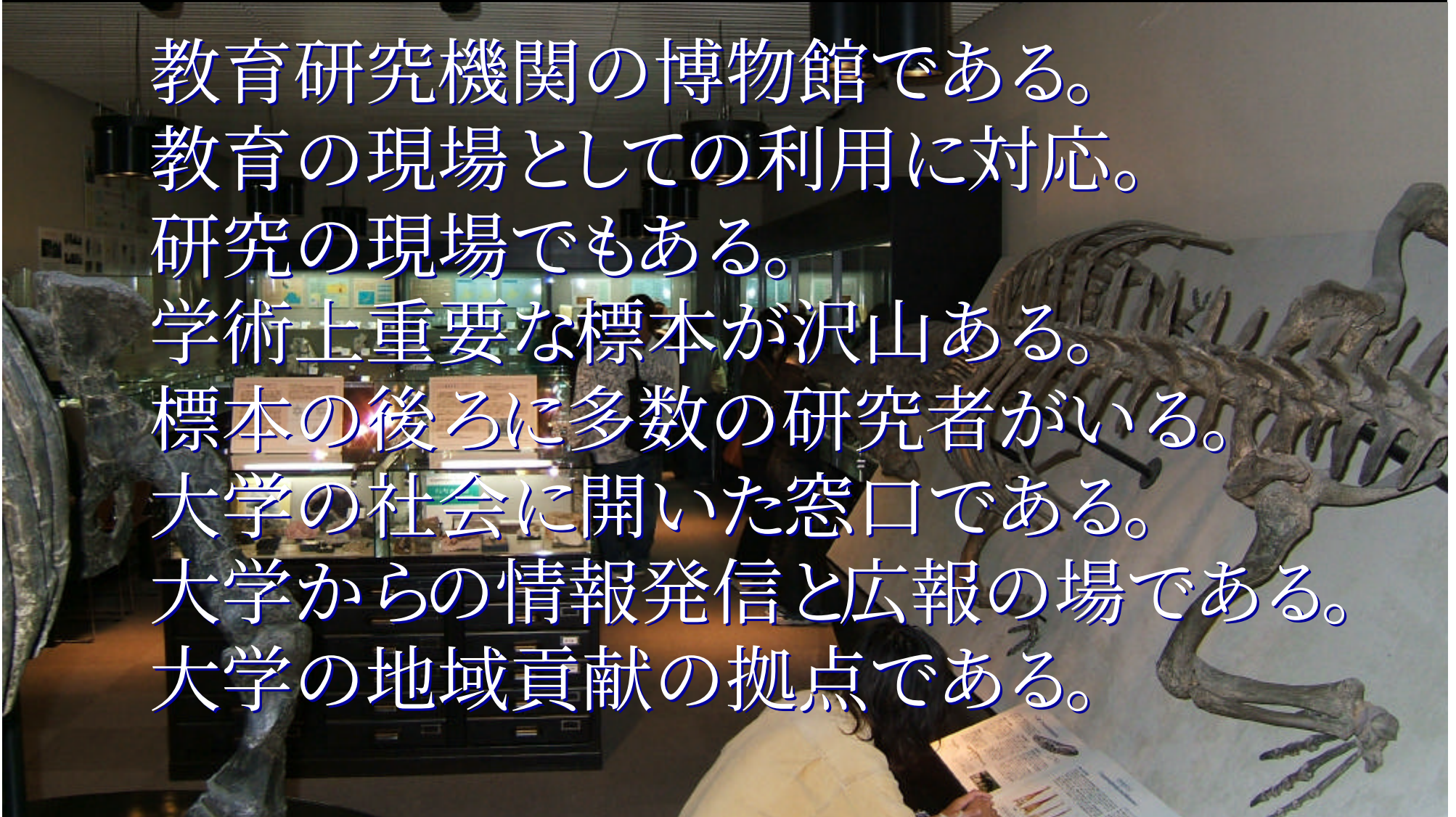


University Museumのあり方 と協議会

北大総合博物館長 藤田正一

大学博物館の特色

教育研究機関の博物館である。
教育の現場としての利用に対応。
研究の現場でもある。
学術上重要な標本が沢山ある。
標本の後ろに多数の研究者がいる。
大学の社会に開いた窓口である。
大学からの情報発信と広報の場である。
大学の地域貢献の拠点である。



大学博物館の存在意義

- **教育貢献**-実物を使った教育のために利用可能なように展示、収蔵、管理。
- **研究貢献**-自らの研究による貢献と、現在・未来の学内外の研究者が利用可能なように標本・資料の収集、収蔵管理、展示。「博物科学」の発展に寄与。
- **社会貢献**-公開展示による興味の喚起、啓蒙活動
● 総合学習、生涯学習に対応
- **大学の情報発信の拠点**-大学で行われている研究などを実物を持って社会に発信。
- **広告塔**としての機能-単なる情報伝達ではなく、大学の宣伝、高校生へのアピール。

大学博物館のターゲット

- 高校生
 - 自大学の学生
 - 自大学OB
 - 大学訪問客 「学賓」
 - 内外の研究者
-
- 小中学生－総合学習
 - 一般市民
 - 高齢者
 - 観光客



大学博物館の現状

- 博物館建物ー建物が無い大学が多い
- 予算ー大学のどんぶり勘定の中
- 標本・資料の蓄積 維持管理 標本維持費あるか
- 研究、研究費ー科学研究費申請先あるか
- 研究貢献、学内外の研究者対応 設備、人
- 教育貢献
- 社会貢献
- 展示公開、市民セミナー
- 大学ゲスト対応
- その他のサービス
- 人 図書にはライブラリアン、博物館には学芸員
- 入館料、ドネーション
- ボランティア



標本・資料の蓄積 維持管理

標本・資料は大学の知的財産
「博物科学」の基本

劣悪な保存環境の改善
整理

データベース化

学術標本と展示可能な標本

問題は人と予算

研究費

現状では、文科省科学研究費の細目に「博物館」とつくものが無い

博物館)学の細目を設置した場合どれくらい
の人がその細目で応募するか

自分の専門分野に応募するのとどちらが出し
やすいか



協議会として対応すべき共通課題 (1)

- 1) 大学博物館の共通理念の検討
- 2) 全ての大学に大学博物館を
- 3) 学術的、歴史的に貴重な標本、資料の維持のための経費を運営費交付金とは別枠で
- 4) 博物館には学芸員を置くこと」の義務付けを
- 5) 博物館の未来への投資について 標本の蓄積
遺伝子資源の蓄積 — 種子、臓器、DNA

協議会として対応すべき共通課題 (2)

- 6) 協議会の運営方法 : 実効性のある運営のための組織
- 7) 協議会全参加館で共通の研究課題の応募
- 8) 巡回展
- 9) 旧国立大学以外の教育研究施設 (私学その他) の博物館の協議会参加について
- 10) 情報の共有化 : 協議会のホームページ
- 11) 参加館の役割分担
- 12) 科研費細目に「博物館学？」を
- 13) 博物館教員が参加したい学会 (博物学会?) 設立
- 14) 博物館が小額無記名の寄付を受け付ける募金箱設置を可能にする方策の検討

未来に向けて「博物科学」の 必要性

- 「博物学」から「博物科学」へ
- 古い標本に新技術の光を
- 博物標本はDNA研究の宝庫
- 進化・分類学研究の基本的研究資料
- 環境汚染時代以前の動植物標本もある。
動植物の汚染環境下での進化や環境適応、
不適応、多様性の変化等
- 学術標本資料学の新展開
- 未来の研究への備蓄及び備蓄法
- Museology: 博物館学、
MuseScience: 博物科学（新造語）



協議会の今後に関する提案

- 学会を持つ。 博物科学会？」
 当面手作りの研究会＝博物科学研究会)
- 学会に分科会を設ける。
 学術分科会 : 博物学の現代的展開 「博物科学」
 教育分科会 : 博物館やその標本を用いた
 教育の方法論等
 展示分科会 : 新しい展示法、展示技術と効果、等
- **協議会**は学会の開催時に開催
- 協議会とともに、**実務担当者会議**を開催
- 学会長は持ち回りとする。





William S.
Clark
W.S. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



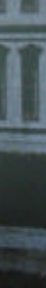
Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



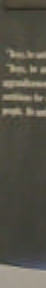
Clark W. Clark



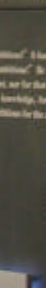
Clark W. Clark



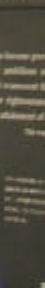
Clark W. Clark



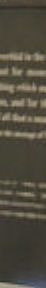
Clark W. Clark



Clark W. Clark



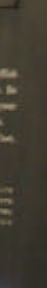
Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



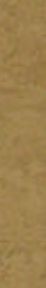
Clark W. Clark



Clark W. Clark



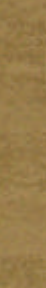
Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



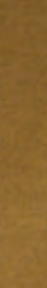
Clark W. Clark



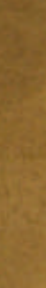
Clark W. Clark



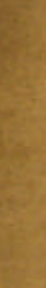
Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



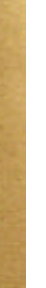
Clark W. Clark



Clark W. Clark



Clark W. Clark



AMBITIONOUS

BOYS,

LET'S GO

Quoting Clark

EDWIN SALAMONSON

"Was, he ambitious?" It has become proverbial in the school.
"Was, he ambitious?" He ambitious not for money or for selfish
aggrandizement, nor for the moment thing which men call fame. He
ambitious for knowledge, for righteousness, and for the right of your
people. He ambitious for the attainment of all that a man ought to be.
The way the average of William S. Clark.

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS
CHICAGO, ILL. 60637
PRINTED IN THE UNITED STATES OF AMERICA
1968





